

1 全国都市緑化フェアについて

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として開催するものです。また、期間中には中心的行事として「全国都市緑化祭」が開催され、皇室のご臨席を賜ることが通例となっています。

仙台市では、平成元(1989)年度に七北田公園で「'89グリーンフェアせんだい」を開催しました。

開催自治体	第7回 平成元年度 (1989)	第36回 令和元年度 (2019)	第37回 令和2年度 (2020)	第38回 令和3年度 (2021)	第39回 令和4年度 (2022)
	仙台市	長野県・ほか4市	広島県・広島市 ほか22市町	熊本市	北海道・恵庭市



第7回'89グリーンフェアせんだい



第36回信州フェア



第37回ひろしまフェア

2 第40回全国都市緑化仙台フェアの開催について

緑化フェアの開催される令和5年度は、杜の都の緑豊かな都市環境の形成に大きな役割を果たした「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50年目の節目の年となります。

以下のとおり、本市において緑化フェアを開催する意義を整理し、次に掲げる開催テーマや基本方針のもと、全国緑化仙台フェアを実施します。

開催意義

1. 次世代へと続く新たな「百年の杜づくり」
2. みどりと親しむ生活と新たな交流の創出
3. 東日本大震災からのみどりの復興と防災のまちづくりの発信

テーマ

杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く

基本方針

1. 杜の都のみどりの可能性を発信するフェア
2. 杜の都のみどりを体感するフェア
3. 次世代の担い手を育むフェア
4. みどりと花に囲まれたライフスタイルを生み出すフェア
5. みどりを通じて人がつながり、まちが賑わうフェア



3 基本的事項

名 称	第40回全国都市緑化仙台フェア
愛 称	未来の杜せんだい2023 ～Feel green!～
主 催 者 等	主催者：仙台市、公益財団法人都市緑化機構 事業主体：第40回全国都市緑化フェア実行委員会
開 催 期 間	令和5（2023）年4月26日(水)～6月18日(日)（54日間）
目 標 入 場 者 数	メイン会場、まちなかエリア会場、東部エリア会場の合計で、100万人の入場を目標とします。
入 場 方 式	会場への入場は無料とし、一部有料のプログラムやコンテンツを実施します。
事 業 費	概ね16億円とします。

4 会場計画

仙台フェア開催の意義、開催テーマ、基本方針等を踏まえ、エリアごとのコンセプトを定めながら会場を設定します。

	<p>都心部の新たな緑のネットワーク拠点となるエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 青葉山公園追廻地区 杜の都のみどりある暮らしを楽しむ、にぎわいのエリア ■ 西公園南側地区 杜の都の風景や自然に親しみ、みどりと遊ぶエリア ■ 広瀬川 広瀬川の新たな魅力に出会うエリア
メイン会場	
まちなかエリア会場	<p>都心部に回遊性を創出し、フェアの盛り上がり街全体に波及させる取り組みを進めるエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 仙台駅ペDESTリアンデッキ ■ 宮城野通 ■ 青葉通 ■ 定禅寺通
東部エリア会場	<p>震災の記憶の継承、みどりの復興の発信や、自然に触れながら家族で楽しめる事業展開を図るエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ せんだい農業園芸センター みどりの杜 ■ せんだい3.11メモリアル交流館 ■ 震災遺構仙台市立荒浜小学校 ■ 海岸公園 ■ 高砂中央公園（仙台うみの杜水族館）
連携会場	<ul style="list-style-type: none"> ■ 仙台市八木山動物公園 ■ 仙台市野草園 ■ 東北大学 学術資源研究公開センター 植物園

メイン会場ゾーニングプラン

青葉山公園追廻地区 会場

アーバンフォレストゾーン

みどりあふれるパブリックスペースをイメージした空間演出を行い、杜の都・仙台のまちなかのみどりで憩うライフスタイルを発信

もりの庭園ゾーン

- 青葉山の自然を感じさせる庭園や、造園の伝統の技や知恵を継承・発信する日本庭園
- 庭園内に整備する雨水貯留機能などを持つ「雨庭(あめにわ)」から、グリーンインフラの多様な機能や効果を発信



ウェルカムゾーン

メインゲートを仙台フェアのはじめりにふさわしく花で修景し、ウェルカムガーデンやフォトジェニックスポットで来場者を歓迎



グリーンスクエアゾーン

広大な芝生広場で自由に憩うことができる会場

広瀬川地区 会場

河原に一面に広がる花畑により、広瀬川の新たな魅力を創出



西公園南側地区 会場

グリーンアクティビティゾーン

遊びながら自然を体感できるプログラムや、植物観察などをテーマとしたワークショップの開催等を通じて、親子で自然の大切さを学ぶことができる会場



水辺のテラスゾーン

仙台城跡のある青葉山、大橋、広瀬川を一望できる眺望を楽しむことができ、花やみどりに囲まれたガーデンテラス



人が輝くグリーンライフゾーン

造園団体・企業が伝統の匠の技をつくした庭園や全国の自治体による花壇、市民活動団体等の作品展示



大花壇ゾーン

仙台城本丸から眼下一面に広がる、美しい色のグラデーションが楽しめる大花壇



杜のリビングガーデンゾーン

- 庭園の花やみどりを、仙台の気候風土の中で培われてきた「イグネ(居久根)」になぞらえ、自然と暮らしが調和するこれからのライフスタイルとして提案
- みどりや花があふれる庭園と飲食や休憩ができるスペースの配置を工夫した、自然を感じながらくつろげるリビングガーデン



まちなかエリア会場

場所	展開イメージ
仙台駅ペDESTリアンデッキ	ウェルカムガーデンや花の修景植栽によるおもてなしの演出
青葉通宮城野通	街のにぎわいに彩りを添えるコンテナ修景、花壇設置
定禅寺通	街路樹や花に囲まれた憩いの空間整備、花壇設置



東部エリア会場

場所	展開イメージ
せんだい農業園芸センター みどりの杜	・季節を感じる花修景 ・子ども向けの体験プログラム
せんだい3.11メモリアル交流館 震災遺構仙台市立荒浜小学校	・震災特別企画展示
海岸公園	・市民参加による育樹・植樹プログラム ・震災からのみどりの復興パネル展示
高砂中央公園(仙台南側の杜水族館)	・新しい公園を体験できるイベント ・自然や生き物に親しめるプログラム

5 事業計画

観客誘致 ▶ 仙台の豊かな自然環境の魅力を感じられる仙台フェアのPRやキャンペーンを展開するとともに、首都圏・関東地方を集客エリアとし、観光資源の魅力と合わせて発信するなど、効果的な集客事業を展開します。

広報宣伝 ▶ 準備段階から積極的な情報発信を行い、開幕までの機運を高めるとともに、集客エリア、ターゲットに対応する媒体を活用し、効果的な広報宣伝を実施します。



フォトジェニックスポットの設置

飲食 ▶ 会場のみどりや花の演出を活かした豊かなみどりの中で、楽しく食を堪能できる空間づくりとします。

物販 ▶ 地場の食材や郷土料理等を取り入れたメニューを提供します。
▶ みどりや花にちなんだグッズや花卉などの販売をします。



みどりのある空間で寛ぎある食体験の提供

協働推進 ▶ フェアの開催に向けて、子どもたちをはじめとした市民が花壇づくりなどに参加できる仕組みやボランティア養成講座の実施などに取り組み、新たな担い手の育成につなげます。

▶ フェアへの積極的な参加と協働により、フェア開催後の新たな緑の活動やコミュニティ形成などのレガシーへとつなげます。



子どもたちや市民との会場づくり

6 事業スケジュール

	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	開催年 R5 (2023) 年度
事業計画	基本構想	基本計画	実施計画	仙台フェア開催
実行体制		★ 実行委員会 設立・総会	★ 総会	★ 実行委員会 解散
		大臣同意・開催決定	会場設計	撤去
			会場運営・開催準備	
			会場整備	